



安全な側溝清掃



今回のトピックス

皆さまの現場では側溝の清掃を実施していますか？側溝には落ち葉や汚泥がたまりやすく、大雨が降った時にゴミが詰まっていると雨水が溢れてしまうこともありますので、定期的な清掃が必要です。

側溝にはグレーチングと呼ばれる溝に蓋をする金属板がありますが、今回、そのグレーチングを外して作業を行った際に第三者が怪我をする事象が起きたので、ご報告するとともに安全な作業について考えましょう。

※側溝清掃については、現場ごとに契約書（仕様書）が異なりますので、日常清掃または定期清掃で実施するのかをマネージャーまで確認ください。

① 側溝清掃で通行人に怪我を負わせる事故が発生

現場はタワーマンション。日常清掃員が側溝清掃を行うために広範囲でグレーチングを外して作業していたところ、通りかかった居住者の自転車の車輪と足が溝に落ち、ついた右足を負傷させてしまった。

【事故発生のポイント】

- ◆作業をしていることが分かるように看板を立てていたか？
- ◆作業箇所に侵入できないようにカラーコーンなどで仕切りを作っていたか？
- ◆作業中、通行人を発見できる状態であったか？
- ◆作業できる範囲だけグレーチングを外しているか？

② 通行人に気をつけましょう！

通行人が居住者の場合、普段から使用している通路では歩きスマホやイヤホン、よそ見など、周りに注意せずに歩いている場合が多いです。それを予想したうえで、作業員にとっての安全配慮を行いましょう。

【予防対策】

- ★通行人が気づくように看板を立てましょう。
- ★作業範囲はカラーコーン等で侵入を防ぎましょう。
- ★2名以上で作業を行い通行人に気を配りましょう。
- ★できるだけ作業範囲を狭めて通行できる範囲を広げましょう。

